



# 三遠南信地域の 大学紹介

三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)

# 三遠南信地域と「三遠南信地域連携ビジョン」



三遠南信地域は、人口約220万人弱、豊かな地域資源や多様な自然環境、特色ある歴史・文化など、都道府県にも匹敵する大きなポテンシャルを有しています。

この三遠南信地域は、かつて河川や街道を介して盛んに交易が行われた歴史を持ち、古くからの結びつきが強く、現在でも産業や文化・教育分野などで様々な地域連携や住民交流が行われています。

平成20年3月には、道州制や国土形成計画など国の地域づくり制度の検討が進められるなか、地域住民をはじめ、大学、経済界、行政など圏域の発展を願う関係者の合意の下、地域振興の指針となる「三遠南信地域連携ビジョン」を策定しました。

この「三遠南信地域連携ビジョン」では、地域の将来像を「三遠南信250万流域都市圏の創造」とし、三遠南信地域を一体的な都市圏として、行政、経済、住民活動など様々な分野の交流・連携を一層深め、自立性の高い確固たる圏域の形成を目指します。

## 三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)の紹介

三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)は、三遠南信地域の地域振興の指針である「三遠南信地域連携ビジョン」を推進するため平成20年11月に設置したものです。

### 構成団体

- ・三遠南信地域交流ネットワーク会議の構成団体  
27市町村
- ・三遠南信地域経済開発協議会の構成団体  
48の商工会議所・商工会
- ・三遠南信地域整備連絡会議の構成団体  
愛知県、静岡県、長野県、市町村の道路担当部署、(社)中部経済連合会など

## SENA事業

- (1)三遠南信サミットの開催
- (2)連携ビジョンに定めた重点プロジェクトの推進
- (3)重点プロジェクト推進状況の評価
- (4)道州制に関する国等への働きかけ
- (5)NPO法人、企業等が取り組む三遠南信地域の連携に資する活動に対する支援
- (6)三遠南信地域の一体的な圏域を確立するための組織の検討

## 目 次

### 東三河地域

愛知大学・短期大学部	2
愛知工科大学・自動車短期大学	4
豊橋技術科学大学	6
豊橋創造大学・短期大学部	8

### 遠州地域

静岡産業大学	10
静岡大学	12
静岡文化芸術大学	14
静岡理工科大学	16
聖隸クリストファー大学	18
浜松医科大学	20
浜松学院大学・短期大学部	22
浜松大学	24
光産業創成大学院大学	26

### 南信州地域

飯田女子短期大学	28
----------	----

資料	三遠南信地域内の大学連携事例	30
----	----------------	----

(1) 愛知学長懇話会の概要

(2) 静岡県西部高等教育ネットワーク会議の概要

三遠南信地域大学一覧	32
------------	----

三遠南信地域の大学分布	33
-------------	----

このパンフレットでは、三遠南信地域の16大学のうち掲載を希望した14大学を紹介しています。



## 第二の創学・建学に邁進する愛知大学



愛知大学は、1946年11月に旧制大学として豊橋市に創立されました。その設立趣旨には、地域社会文化への貢献、国際的視野をもった人材の養成が高らかに謳われており、グローバルな時代を先取りするものとなっています。その後、豊橋市以外の愛知県内に2つのキャンパス(みよし市、名古屋市東区)を開設し、3キャンパスの人文社会系総合大学として法学部、経済学部、経営学部、現代中国学部、国際コミュニケーション学部、文学部、地域政策学部、短期大学部、大学院(6研究科)、法科大学院、会計大学院が設置されています(学生数はおよそ1万人)。現在は、新名古屋キャンパス(ささしま)の開校(2012年4月)、豊橋キャンパスのリニューアルを軸とする「第二の創学・建学」期を迎えていました。

### 地域社会文化への貢献 豊橋校舎を拠点化



研究面では総合郷土研究所、中部地方産業研究所とこれらの実績を基礎に2004年10月に設置された三遠南信地域連携センターが、また、教育面では文学部(社会学、地理学など)や経済学部とそれぞれの大学院とが、「地域社会文化への貢献」を担ってきました。2011年4月には、これらの成果を踏まえて西日本では最初(私立大学としては全国初)の地域政策学部が設置され、地域社会文化への教育研究を通じた貢献の体制がさらに強化されました。

### 国際的視野をもった人材の養成 新名古屋校舎を拠点化



研究面では、大学創立直後に設置された国際問題研究所、文部科学省・21世紀COEの対象となった国際中国学研究センターが、また、教育面では現代中国学部(中国を冠する学部としては日本で唯一)、国際コミュニケーション学部、およびそれぞれの大学院が「国際的視野をもった人材の養成」に貢献してきました。特に、大学院中国研究科における中国2大学との二重学位(博士、修士とも)プログラムは、いわゆるグローバル人材の養成に大きく貢献してきました。

### 高度な専門的職業人の養成 車道校舎を拠点化



2011年からの豊橋校舎のリニューアル、2012年の新名古屋校舎の開校と連動して、車道校舎は、高度な専門的職業人の養成の拠点となります。既に設置されている二つの専門職大学院に加えて、2012年4月には、大学院の5研究科が集結します。法科大学院は、この間、新司法試験の合格率において私立大学の中で傑出した実績(2009年度私立大学中第1位、2010年度同第5位など)をおさめてきましたが、公認会計士その他の高度な専門的職業人の養成も強化します。

## 地域交流



オープンカレッジ



だがしろう



地域づくりインターンシップ

地域交流は、ゼミ活動、課外活動、高大連携、また、オープンカレッジ（豊橋校舎での2011年度春学期開講実績は69講座で、受講者数は893名）などを通じて深められてきましたが、三遠南信地域連携センターが2009年度までに取り組んだ「地域づくりセンター」による地域との交流事業（豊橋市南栄商店街での「だがしろう」開店や日本各地での国交省・地域づくりインターンシップとしての活躍（これまでに計31名）など）は地域社会から高く評価されました。今後は、こうした取り組みを、地域政策学部を中心に発展させていく予定です。

## 産学官連携



三遠南信サミット住民セッション



三遠南信TV会議開通式



地域政策学部設置記念式典

国土交通省、愛知県、東三河地域研究センターとの連携による豊川流域圏づくり事業の推進のほか、南信州セカンドスクールの受託調査、三遠南信サミット住民セッションの開催支援などに取り組んできました。2011年7月には、三遠南信地域連携センターと浜松市天竜区、新城市、東栄町、南信州広域連合とを結ぶ「地域連携TV会議システム」が完成し、自治体職員研修、公開講座などを含め、広い範囲での地域連携事業の展開が計画されています。将来的には、地域政策学部の教員・学生もこのシステムを利用しながら、産学官連携に参画していく予定です。

### 学部別学生数構成比



(2011年4月に新設された地域政策学部については1年次在籍者の数値)

国際コミュニケーション学部

1,136人

短期大学部  
349人  
3.7%

地域政策学部  
285人  
3.0%

### 出身県別学生数構成比



- 住所 〒441-8522 愛知県豊橋市町畠町1-1
- TEL/FAX 0532-47-4111(代) / 0532-47-4132(代)
- URL <http://www.aichi-u.ac.jp/>
- E-mail koho@aichi-u.ac.jp

- 豊橋キャンパス 〒441-8522 愛知県豊橋市町畠町1-1  
名古屋キャンパス 〒470-0296 愛知県みよし市黒笹町清水370  
車道キャンパス 〒461-8641 愛知県名古屋市東区筒井2丁目10-31  
東京事務所 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1霞が関コモングート西館37階



## 心を磨き、技を極め、夢に挑む



1987年、愛知技術短期大学(電子工学科、自動車工業学科)を開学。2000年に電子工学科を改組転換し、愛知工科大学が誕生。現在は、工学部に機械システム工学科、電子制御・ロボット工学科、情報メディア学科の3学科を設置している。日々進化を続け、高度化、複雑化する先端技術と専門知識を修得し、幅広く産業界において活躍できるエンジニアの育成に力を注いでいる。

### ものづくり教育の徹底



ものづくりを体で学べるように、実験・実習を多く取り入れたカリキュラムを開設。創造することの楽しさやつくりあげることの喜びを実感すると同時に実践的な技術修得を徹底。即戦力として活躍できるエンジニアを育成している。

### 2つの研究施設を設置



高度交通システム研究所では、情報通信や制御技術を使って様々な交通問題を解決する研究を、宇宙システム研究所では、月や惑星等の未知の環境で人間に代わって活躍する最先端の知能ロボットの研究・開発に取り組んでいる。

### 万全の就職支援体制



独自の就職支援プログラムにより、学生一人ひとりの希望や適性に応じた指導を展開。キャリアセンタースタッフによるマンツーマンの指導や模擬面接、人事担当者を招いての学内企業説明会等、万全の就職支援体制を整えている。

## 地域交流



地域交流事業として、主に以下の事業の実施及び地域組織等が主催する事業への参画を行っている。

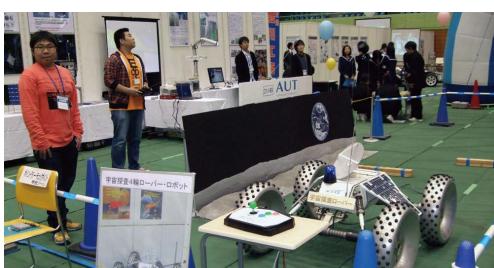
- ・地域住民向け講座等の開催  
①AUT文化講演会「深溝松平家墓所発掘調査」、「映画 太平洋戦争の奇跡～夫婦愛と命～」等の講演会の開催  
②地域住民向け金星探査機H-「ロケット発射ライブ中継の実施  
③ひらめき☆ときめきサイエンスの開催
- ・蒲郡市 赤い電車応援団イベント等の開催協力
- ・刈谷市立富士松北小学校PTA地域触れ合い活動講座への参加
- ・愛知学泉大学附属桜井幼稚園冬祭りへの参加
- ・ロボカップジュニア講座の開催



## 産学官連携



産学官の連携事業として、主に以下の組織等が主催する事業への実施・参画を行っている。

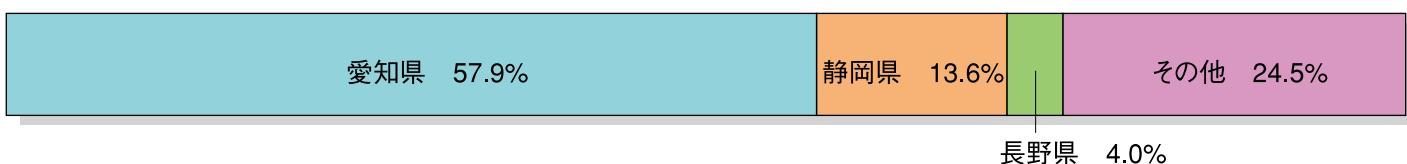


- ・岡崎ものづくり推進協議会との連携  
マイコン制御基礎、金属材料基礎、塑性力学基礎、プレス加工基礎知識、機械製図講座、機械設計製図講座等の講座開講
- ・蒲郡市及び蒲郡市立図書館との連携  
「作って遊ぼうハガキブームラン&紙トンボ」、「君にもできるロボット操作」、「親子でチャレンジ!工作教室」、「親子教室“手回し発電工作教室」等の市民向けの講座開講
- ・幸田町立図書館との連携  
「身近な材料で風力発電をしよう」等の町民向けの講座開講

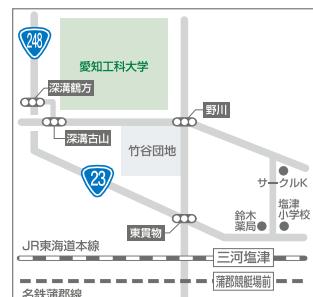
## 学部別学生数構成比

機械システム工学科 269人45.8%	電子制御・ロボット工学科 103人17.5%	情報メディア学科 216名36.7%
---------------------	------------------------	--------------------

## 出身県別学生数構成比



- 住所 〒443-0047 愛知県蒲郡市西迫町馬乗50-2
- TEL/FAX 0533-68-1135／0533-68-0352
- URL <http://www.aut.ac.jp>
- E-mail chiiki@aut.ac.jp

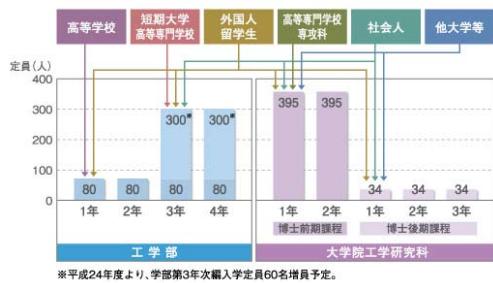


## 技術を究め技術を創る



本学は、技術を科学で裏付け、新たな技術を開発する学問、技術科学の教育・研究を使命とします。この使命のもと、豊かな人間性と国際的視野および自然と共生する心を持つ実践的創造的かつ指導的技術者を育成するとともに、次の時代を拓く先端的技術の研究を行います。そのため、本学は大学院に重点を置き、透徹した物を見る眼、繊細で温かみのある感性、多元的な思考能力、グローバルな視野を培う教育を推進し、技術科学の新しい地平を切り拓くことを目指して研究に取り組みます。さらに、地域社会との連携、国内及び国際社会に開かれた大学となることを目指します。

### 大学院に重点を置いた教育体系



### らせん型教育



今日、産業界は学部卒業生から大学院修了生に採用の比重を移しています。それに応え、本学は、学部定員より大学院博士前期課程定員を多く設定しています。したがって、ふさわしい力があれば博士前期課程に進むことができます。また、教員が大学院教育に合わせて配置されていますので、一教員あたりの学生数は他大学に比べてかなり少なく、密度の高い充実した少人数教育を行っています。

本学の特徴は「らせん型教育」にあります。これは、学部1・2年次及び高等専門学校において基礎・専門を学んだ学生に対し、3年次以降で、さらにレベルの高い基礎・専門をらせん型に積み上げる教育を意味します。このように、基礎・専門を繰り返す教育により科学を理解し、技術に強い関心を持つ学生を育てるのが本学の特色です。

### 先端研究最前線



2007年度グローバルCOEプログラムに「インテリジェントセンシングのフロンティア」が採択されました。本学は、各種センサを搭載したLSIのデザイン、さらにはチップの製造も可能な世界的にもユニークなLSI工場を有しています。こうした理想的な研究開発環境を活かし、従来のセンサの概念を超えて、生体情報、医療、環境、農業分野などの先端的『知』を融合させた『インテリジェントセンシング』の研究開発拠点を形成するとともに、情報化社会を支えるセンシング分野の未来を切り開く国際性豊かなリーダー的即戦力『センシングアーキテクト』の育成を行っています。

## 地域交流



### 「地域の高等学校との連携」

文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」に指定された高校の生徒に対して、自然科学・科学技術に対する興味・関心の喚起、理論的思考力や問題解決能力・探究力の習得、プレゼンテーション能力の習得等を目的として、文系・理系を問わず、2年生全員を2日間にわたり、本学において最先端の科学技術を体験させています。また、愛知県内の県立高校及び静岡県西部地域の県立高校の生徒に対して、本学の高度な技術や科学分野に関する実験実習を体験させることにより、本学または工学部に対する理解を深めてもらうことを目的として「TUTラボ」を実施しています。この他にも高校等と連携して魅力的なカリキュラムを開発するなど、科学技術に夢と希望を持つ、創造性豊かな人材の育成を行っています。



### 「地域の自治体との連携」

東三河地域防災研究協議会(東三河地域の災害に対する安全性確保に資する地域密着型防災対策・技術の調査及び研究を行い、災害に強い地域づくりを促進することを目的とする)からの依頼を受け、防災対策・防災技術の調査・研究を行っています。また、豊橋市からは主に環境関連の調査・研究を、田原市からは交通渋滞、水害予測等の市民ニーズ調査の依頼を受けて、調査・研究を行っています。

## 産学官連携

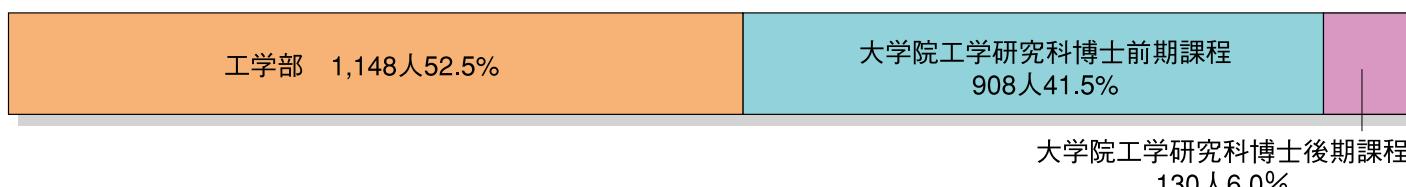


### 「色弱模擬フィルタ(商品名:バリアントール)の開発」

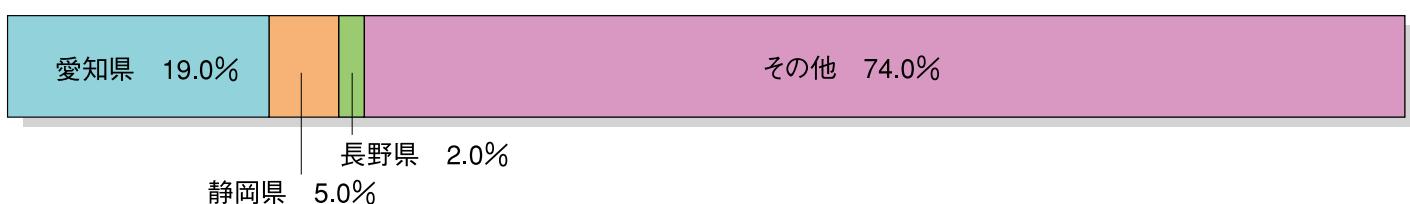
カラーユニバーサルデザイン(CUD)のための色弱模擬フィルタ(商品名:バリアントール)が産学官連携功労者表彰の経済産業大臣賞を受賞しました。この表彰は、産学官連携の推進に多大な貢献をした優れた成功事例を称えるために、平成15年度より毎年行われています。

本フィルタは、本学の中内教授、高知工科大学の篠森教授及び伊藤光学工業株式会社が、共同で眼鏡型及びルーペ型のCUDツールとして世界に先駆けて開発したもので、色弱者が感じている色見分けの不便さを、一般色覚者が簡便にその場でリアリティーを持って模擬体験することができます。企業や行政による印刷物、教科書、公共サイン、交通機関の表示等の配色チェックなどに幅広く利用され、社会貢献度の高い事例として高く評価されています。

## 学部別学生数構成比



## 出身県別学生数構成比



- 住所 〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
- TEL/FAX 0532-44-6569 / 0532-44-6509
- URL <http://www.tut.ac.jp/>
- E-mail chiren@office.tut.ac.jp



## 創造性豊かな次世代社会の担い手の育成



本学は、109年の歴史を持つ藤ノ花学園の実践的教育の伝統を現代に活かし、昭和58年に設置された豊橋短期大学を基礎として、平成8年に開設されました。大学には情報ビジネス学部と保健医療学部及び大学院、短期大学部には幼稚教育保育科とキャリアプランニング科及び専攻科があり、創造性豊かな次世代社会の担い手を育成しています。

### 地域と連携し、「プロジェクト教育」を実践



情報ビジネス学部と短期大学部キャリアプランニング科では、地域の企業等と連携しプロジェクトの実践を通して職業的な能力の向上を図る取り組みを実施しています。

### 東三河唯一の理学療法士、看護師養成大学



理学療法学科及び看護学科は地域からの強い要望に応え設置されました。地域の医療機関と連携して充実した臨床実習を行い、地域医療の明日を担う専門的職業人を育成しています。

### 社会貢献を通して職業的能力を養う



短期大学部幼稚教育・保育科では、豊橋市の子育て支援施設「ここにこ」を会場として学生が企画運営する子供向けイベントを実施し、実践を通して職業能力を伸ばす教育を行っています。

## 地域交流



地域に開かれた大学として、「地域貢献センター」を設け、社会人向け講座を開講しております。平成22年度は23講座を開設し、社会人延べ2820人が受講しました。

公開講座以外にも、学園祭や幼児教育・保育科が実施する「青い空コンサート」は地域より多くの入場者を集めています。

また、地域社会から様々なイベントやボランティア活動への学生参加の依頼については、学生が社会を知る貴重な機会ととらえ、大学として積極的に対応を行っております。



## 産官連携



豊橋市内の3大学と豊橋市との間で包括協定を締結し、各大学の特性を活かした地域貢献を行っています。浜松市や豊川市で開催される企業メッセに出展し、本学の研究と地域企業との連携の可能性を探っています。また、大学院経営情報学研究科では、社会人向け短期ビジネス講座「創造起業塾」を開講しています。

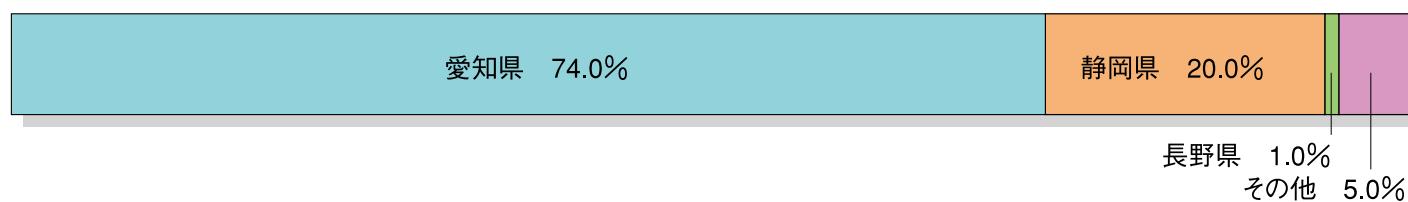
さらに、実践的教育の取組として、情報ビジネス学部とキャリアプランニング科では、地域の企業等と連携してプロジェクト教育に取り組み、地域社会との関わりの中から学生のコミュニケーション能力や問題解決能力を伸ばす教育に取り組んでいます。



## 学部別学生数構成比



## 出身県別学生数構成比



- 住所 〒440-8511 愛知県豊橋市牛川町松下20-1
- TEL/FAX 050-2017-2101 / 0532-55-0803
- URL <http://www.sozo.ac.jp>
- E-mail somubu-shomuka@sozo.ac.jp

